

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
基礎デザイン実習C											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	小川 知子			実務 経験	有	職種	インテリアコーディネーター				
担当教員紹介											
設計事務所にて、建築設計、展覧会展示計画、舞台装置、書籍の編集などに9年間携わる。											
授業概要											
基本的な設計製図のルールを理解し、正確な図面がかけられるようにするために、道具の使い方、線の引き方、製図記号のルールを学習する。平面図、立面断面図などの基本的な図面がかけられるようにする。											
到達目標											
1. 図面のルールを理解し、正しく道具を使い、正確な図面がかけられるようになる 2. 木造・鉄筋コンクリート等基本的構造の空間の図面がかけられるようになる。											
授業方法											
実際に製図板を使い、各々1枚の紙に正確に線の意味を考えながら、空間を意識しながら、作図する。図面から、その空間を読み取れるよう授業を通して考えられるようにする。											
成績評価方法											
課題完成度	40%	提出課題の完成度を総合的に判断する									
制作過程	40%	授業における説明を理解し、図面に反映できるかを評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価									
時間厳守	10%	決められた締め切りを守れたことを評価									
履修上の注意											
欠席をしないこと。授業開始時に説明をするため、遅刻をしないこと。製図道具や図面を忘れてしまうと作図作業ができなくなってしまうので、忘れ物をしないこと。時間内に仕上げられなかった部分は、次回授業までに仕上げておくこと。提出締切日時は厳守すること。すべての課題の提出をもって合格とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は合格することができない。											
教科書教材											
教科書：やさしく学ぶインテリア製図 教材：製図道具											
回数	授業計画										
第1回	製図板・製図道具の使い方。図面の種類と意味／基本的な道具の使い方。文字や線のかきかたを理解する										
第2回	図面記号／図面記号の種類や意味を学ぶ										
第3回	平面図／自分の部屋を実測し、平面図を作図する（断面線と見えがかり線のかきわけ）										
第4回	展開図／自分の部屋を実測し、展開図を作図する（家具の表現など）										
第5回	自分の部屋、仕上／自分の部屋を実測し、平面図・展開図を作図する										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
基礎デザイン実習C	
第6回	R C造のマンション（一戸）／平面図（壁・建具記号など）
第7回	R C造のマンション（一戸）／断面・展開図（建具、家具など）
第8回	R C造のマンション（一戸）／平面図、断面・展開図
第9回	R C造のマンション（一戸）／平面図、断面・展開図完成
第10回	木造（一戸建）／平面図、配置図（柱、間柱、壁、建具のかきかたを学ぶ）
第11回	木造（一戸建）／平面図、配置図
第12回	木造（一戸建）／断面図（屋根や梁などの書き方を学ぶ）
第13回	木造（一戸建）／立面図
第14回	木造（一戸建）／仕上
第15回	木造（一戸建）提出、プレゼンテーション、講評会